

館報

おみ

3月号
No.696

2025.3.25 (令和7年) 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240



▲新しい舞台へ巣立ちのとき（麻績小学校卒業式 3月18日撮影）関連記事は3面

「無言館」の読み語り
とライヤー演奏を聴く

第十回麻績学級を二月二十七日に地域交流センターで開催し、十七人が参加しました。

第一部は、教育長による「麻績学級が目指すもの」など教育についてのお話で、脳の働きを良くするために、早口ことばを交えて語られました。

令和六年度出席者表彰では、四名の方に修了証が交付されました。

第二部は、「お話や麻もよう」の皆さんによる読み語りとライヤー演奏で、上田市にある戦没画学生慰霊



▲皆勤お疲れさまでした



▲戦没画学生の手紙を読み語る

美術館「無言館」の展示作品、戦死された作者に関係する手紙などを、曲に合わせて語りました。その悲しい内容に、涙する方もいました。

おみ図書館開館
二十周年記念講演会

今年度二十周年を迎えたおみ図書館の記念講演会を三月一日に地域交流センターで開催しました。

「おかあさんがおかあさんになった日」や「せとうちたいこさんシリーズ」など有名な絵本紙芝居作家の長野ヒデ子さんを講師にお

迎えし、村内外から八十人以上の方が集まりました。ヒデ子さんのお話は大変楽しく、笑いが絶えませんでした。

講演会の詳細は、七面の「本の森だより」をご覧ください。



▲ユーモアあふれる講演

小学生の提言が実現

聖高原駅の出入口に、麻績村をPRするウェルカムボードが設置されました。

一月の子ども議会で麻績小学校六年生が聖高原駅を魅力的な麻績村の玄関口とするため「おみほんグッズや絵を飾ってほしい」という提言に対して、駅舎の出入口に布製の「ウェルカムボード」を設置することが

実現し、三月十二日にお披露目されました。

ボードは平田恭子さん（矢倉）が作成し、おみほんとりんごなどが裝飾された「ようこそおみむらへ」とメッセージが縫われていくもので、六年生も提案が採用されて、皆さんとても喜んでいました。



▲ウェルカムボード



▲おみぼんと一緒に撮影



令和になる前までは、松本市へ行くと松本献血センターへ行き、成分献血の回数を重ね、成分献血（原則二週間空けると可能）今では二百回を超えている。

しかし、新型コロナウイルス感染症が流行って以降、センターへ行かなくなりました。だが、年に二回ほど全血四百ml献血のバスが役場に来る時は、やるようにしている。

原則センターでは、血漿か血小板の成分献血（全血も可能）を行っており、私が行かなくなった最大の理由は、ネットの予約が必要になり、当日に予約しようとしても、予約がいっぱいであるからである。

この前、役場に来たバスの中で、またセンターに来たいといわれた。人間ドックの結果が次第に悪くなっており、体のようすをみるという意味でも、時々行こうかなと考えている。



▲合唱「旅立ちの日に」

筑北中学校卒業式

三月は、これまで一緒に過ごしてきた仲間との別れの季節です。麻績小学校は十八日（卒業生二十一一人）、筑北中学校は十九日（卒業生十五人）に卒業式が行われ、麻績保育園は三月二十五日（卒園児十三人）に卒園式が行われました。新たな地への旅立ちに向けて希望と不安でいっぱいかもしれませんが、四月からは新しい出会いが待っています。小学六年生、中学三年生と保育園ひまわり組の皆さん、ご卒業・ご卒園おめでとうございます。

巣立ちのとき
ご卒業・ご卒園おめでとう



▲卒業証書授与



▲在校生に見送られ卒業生が退場



▲最後のホームルーム



▲卒園おめでとう

麻績保育園卒園式



▲卒業おめでとう

麻績小学校卒業式



▲ひまわり組の思い出は…



▲心をこめた合唱



▲最後にひまわり組の皆さんへ



▲一列に並んで撮影



▲【トトロの森】
わくわくの村の方と看板を作ったよ



▲【おとまり会】
お気に入りのぬいぐるみを抱えておやすみなさい



▲みんなで目的地を決めた【なかよし遠足】



▲ひまわり組の仲間

今年1年は本当に色々なことを楽しみましたね。保育園に泊まりたいと言うくらい、保育園を楽しんでくれたことが先生はとても嬉しかったです。小学校ももっと楽しいことがいっぱいあるよ！ これからもみんなで力を合わせて色々なことに挑戦してね。応援しています。
みき先生より

元気通信!!

今月の小・中学校

麻績小学校

六年生では、今年度、総合的な学習の時間で、オリジナルピザ作りに挑戦しました。

材料選びからこだわari、目をつけたのが、麻績村の特産品、もち麦です。早速、OMIMOの久保田さんや、信州大学の日高先生をお呼びして、もち麦について教えていただいたところ、もち麦は水溶性食物繊維がたっぷり、身体にとってもいいことを知りました。材料は決定。もう一つの課題は、資金集め。小学校でバザーを開いたり、半年かけてアルミ缶回収を行ったりすることで自分達が目標にしていた以上の資金が集まりました。

いざ、ピザ作りに突入！一番こだわったのは、小麦粉ともち麦粉の比率です。何度も試作を繰り返し、外はカリカリ中はモチモチに

なる、三対一の比率に決定しました。学校の職員からお借りした、ピザ窯を使って焼いたマルゲリータは絶品です。一人一人が自分の得意な分野で活躍でき、麻績村の特産品にも触れられ、深い学びとなりました。



▲うまくできるかな？



▲完成したマルゲリータ

筑北中学校

四年間ありがとうございました

ございました

筑北中学校

校長 白井 伸明

母校の筑北中学校に赴任し、早いもので四年が経ちました。私も、六十歳になりましたので、これにて、役職定年になります。校長職から離れ、残り二年間は教諭として勤めることとなります。

この四年間、地域の皆様には、多くのご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。

前任地で辞令をいただきました。そこには「筑北中学校」と書いてありました。教員になってから「生まれ地域の学校に勤務できる」といいな」と思っていました。が、まさか、現実になるとは。とてもうれしかったです。飯森前教育長さんからは「小さな学校で申し訳ない」というようなお話がありました。が、教員人生



▲転任される先生と一緒に

四年間で、聖山への登山を実現できたことは、本当に良かったと思います。昨年度から登っています。二年が過ぎました。今後も重要な行事として残って欲しいと思います。

最後の四年間、母校に勤務できることは、とても光栄なことだと思えました。赴任してすぐに、ランチルームの「聖山（小原福治作）」の日本画を見ました。私が中学生の頃、校長先生から画の紹介がありました。開校当時の保護者の方々の願いが込められている画です。とても懐かしく思いました。ちょっとひび割れていたもので、すぐに表装に出したことを覚えています。「聖山」は、麻績村のシンボルです。常にみんなを見守ってくれています。この四年間で、聖山への登山を実現できたことは、本当に良かったと思います。昨年度から登っています。二年が過ぎました。今後も重要な行事として残って欲しいと思います。

私が小学校六年の時の遠足では、麻績小から聖山の往復二十km近くを歩きました。中学校では、途中までバスで行き、登山口から登るようにしていますが、生徒が、聖山から麻績村の景色を見て郷土を感じることは、麻績村に育つ生徒にとって大切なことではないかと考えます。山頂から、大岡の高峰寺まで歩き、その後バスで聖湖に移動し、周辺の散策をするというようなコース設定で実施していきます。実際に、麻績の麓からスタートできれば、本当に凄いいことだと思います。

思い出話を、語りだせばきりがありません。とにかく、四年間を母校で過ごせたこと、そして、無事に終えることできたこと、本当に良かったと思います。大変お世話になりました。

麻績の神社と 薙鎌信仰について

(その五)

建御名方神の 母神について (続き)

糸魚川市には、天然記念物に指定されている「小滝川ヒスイ峡」があり、翡翠の原産地であり、建御名方神の母は「ヒスイの女王」とも呼ばれた。

JR糸魚川駅前には、左手に翡翠の玉を掲げるヌナカワヒメ像が建立されている。

広辞苑には「古事記神話で高志国「こしのくに」(新潟県)に住み、八千矛神「やちほこのかみ」(大國主命の異称)に求婚された神」とある。

上代歌謡の神語りでは、夫が妻の家を訪れて求婚する「妻問い」だという。

平安初期に撰したとされる神代から推古朝(六二八)までの事跡を記した文書旧事記には、「大己貴神「おこなむちのかみ」(大國主神)が高志の沼河姫を娶



▲市野川神社の五反織 (出典：麻績村誌下巻)

って』一男がお生まれになった。その子建御名方神は、信濃国諏訪郡の諏訪神社に鎮座される」と記されているという。

諏訪に鎮座してから、高志から母神をお迎えした。

諏訪上社の鹿狩の聖地・茅野市にある「どぶろく祭」で有名な御座石「ございし」神社の祭神(高志沼河姫命)となられた。

下社秋宮には境内摂社・末社として七社あり、子安社には、母神が祀られ、お産の守り神として親しまれている。手水所の「底の抜けた柄杓は、水がつかえず軽く出るように、お産も楽

にすむようにと、安産を願い、また安産のお礼に奉納されたもの」だそうです。

若宮社には、御子神が祀られている。

茅野市の姫宮社・塚原鎮守神社にも祭神として祀られている。

八坂刀売神「やさかとのめのかみ」について

八坂刀売神は、建御名方神のお后(姫)で、諏訪大社上社前宮・下社春宮の祭神である。

麻績村では、唯一市野川神社に祭神として、建御名方神と併祀されている。「八坂刀賣神」従六位麻見

義修敬書の五反織が奉納されている。由緒については、奥社の御神像二体を祭る祠の裏に記されているが併祀された祭神についての経緯はない。

昭和十六年に、村社市野川神社と改称されるまで、「諏訪社」と称し、諏訪神社の分社であり、明治十七年五月十五日に「薙鎌」を分附されるなど結びつきは濃厚であった。

八坂刀売神の「ヤサカ」は坂や峠の多いことをあらわし、「弥栄」に通じ、山国信州の守護です」と「信州の神事」に記されている。

夫神である建御名方命は、佐久市志賀の荒船神社の祭神でもある。

佐久市と群馬県の県境荒船山(一四二二・五m)の荒船明神(抜鉾大明神)と契りを結び生まれたのが、御子神二十二神の第十五子・佐久市白田の新海三社神社の主祭神・興波岐命「おきはぎのみこと」だという。

八坂刀売命が下社春宮の祭神となられたのは、夫神である建御名方命と上社で

暮らしていたが不仲となり、下社春宮という別社を造って別居したという。：俗説もある。

建御名方神の旅路 出雲から諏訪へ

古事記の「国譲り神話」で出雲の稲佐の浜で力くらべに敗れ、諏訪に鎮座するまでの旅路を推考する。

前掲の「出雲風土記」の御穂須須美命は、「日本海航海守護」の神だという。島根県松江市美保関町の漁港に船の入出港を監視した「美保関」という海関があった。

建御名方神は、この港から同腹と伝えるミホスミに導かれて、日本海を北に進み母神ヌアカワヒメの故郷、高志の国奴奈川郷で再会を果たして、母から授かった翡翠の玉を御土産に諏訪に辿りつき、切磋琢磨の暁に大社の祭神に鎮座した。

次号に続く

「寄稿」信濃史学会会員

飯森 忠幸



開館二十周年
記念講演会開催

二〇二四年度開館二十周年を迎えたおみ図書館では数々の記念イベントを開催してきました。

その最後を飾る講演会を三月一日に開催しました。

絵本・紙芝居作家の長野ヒデ子さんを講師にお招きし、村内外からたくさんの方が集まりました。

前半は、デビューのきっかけになった、ご自身のお子さんのために作った作品



▲当日は先生が運んできたような晴天に恵まれました

「とうさんかあさん」に込めた思いや、産経児童出版文化賞を受賞した代表作の一つ「おかあさんがおかあさんになった日」の創作の裏側、編集者との出会いのお話。

後半は、紙芝居文化推進協議会会長も務められているお立場から、日本独自の文化である紙芝居の素晴らしさ、絵本との違い、楽しい演じ方の方法など、いろいろとお話いただきました。



▲開館20年の歩みを語る塚原村長

を演じる時だけでなく、人形を使ったり、お母さんがお子さんに語りかけたりする時にも使える」という楽しいご提案も。

長野さんとのご縁を繋いでいただいた、松本の「ちいさいおうち書店」さんによる長野さんの作品販売も、大勢の方で賑わいました。

講演会終了後、おみ図書館には村内はもちろん村外



▲どれにしようかしら



▲舞台はこんな使い方も

の多くの方にもご来館いただきました。

図書館を知っていただく良いきっかけになりました。

長野さんに麻績村の感想をお聞きしたところ「美しい峰々と、きれいな空気に感動しました。またぜひ訪れたいです」と話されました。

今回の講演会にご協力いただいた皆様、この二十年

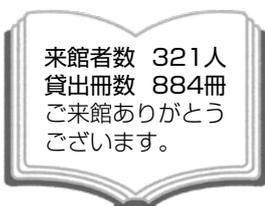


▲可愛いイラスト付きのサインが良い記念に



▲サイン会に長〜い列が

2月の図書館



来館者数 321人
貸出冊数 884冊
ご来館ありがとうございます。



▲玄関は先生の大人気作「たいこさん」シリーズのオマージュで



▲館内の長野ヒデ子さん作品コーナー

間おみ図書館に関わってくださったすべての皆様に感謝いたします。今後も更なるご厚情を賜りたく、よろしく願いいたします。



「おみスクール
パートナース」では
学校支援ボランティア
を募集しています

学校教育活動や学校環境
整備などを支援していただ
ける学校支援ボランティア
を募集しています。

「おみスクールパートナ
ース（コミュニケーション
事業）」のボランティアと
して、「学校での読み語り」、
「麻績小学校クラブ活動講
師」や「環境整備」など活
動はさまざまです。学校で
必要な人材は、その時々
によって違ってきますので、
学校と地域のボランティア
の取次ぎを行います。

ボランティアに応募した
い、または内容などに関す
るお問い合わせは、麻績村

公民館（☎六七〇二二四〇）
までご連絡ください。



▲読み語りボランティア

在校生からの
心のこもったメッセージ

筑北中学校で三月十四日
に三年生を送る会が開かれ
ました。その中で、三年生
が校内に隠れている在校生
を見つけ、その際にキーワ
ードを受け取り、全員を見
つけて組み合わせると在校
生からのメッセージとなる
イベントを行いました。

無事に全員を見つけたこ
とができ、「高校に行つて
も頑張ってください！お世
話になりました」というメ
ッセージが完成し、卒業し

てそれぞれが別々の新たな
道へ進んでいく三年生への
励みとなりました。



▲在校生からのメッセージが完成！

聖高原スキークラブ
クラブ内選手権

今年創立六十周年を迎え
た聖高原スキークラブでは、
三月九日に聖高原スキー場
で恒例のクラブ内選手権を

行いました。

昨年、一昨年は雪不足に
より開催できませんでした
が、今年は雪に恵まれ、タ
イムレースは、自己申告し
たタイムと実際に滑ったタ
イムの誤差が少ない順に順
位付けを行いました。

ジュニアの部

- 第一位 塚田昂成（千曲市） 0・02秒差
- 第二位 平林奏汰（本町） 0・42秒差
- 第三位 清水菜穂（本町） 0・65秒差

大人の部

- 第一位 原笹莉名（中町） 0・16秒差
- 第二位 清水愛恵（本町） 0・21秒差
- 第三位 松本如聖（東京都） 0・38秒差

ベストタイム

清水愛恵（本町） 24・69秒

今後とも聖高原スキー場を
盛り上げるために、クラブ
員一同精進して参ります。

「寄稿」聖高原スキークラブ

公民館行事の予定

第一回麻績学級

日時 五月十六日（金）

午後二時から

場所 地域交流センター

内容①村長講話

②中川政秀さんによる
懐かしの名曲（主に
井上陽水）の弾き語
り



お誕生おめでとう



井上 然ちゃん
洋輔・愛友美
（菅の沢）

ご冥福を祈る

- 塚原安津美 104歳 野田沢
- 山本 文雄 92歳 市野川
- 若林 和子 98歳 明治町